



第45期 第2四半期報告書

2020.7.1 ➞ 2020.12.31

Dreams

Your dreams. Woven together.
朝日インテック株式会社

証券コード:7747



代表取締役社長
冨田 昌彦

中期経営計画『ASAHI Road to 1000』に基づく成長戦略を着実に進め、企業価値の拡大を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響による市場規模の一時的縮小などにより売上高は減少しました。

2020年に入り発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、グローバル規模で血管内カテーテル

治療の症例数が減少し、市場規模が一時的に縮小しております。現在、減少のピークは超えており、グローバル規模で症例数は回復傾向にありますが、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

そのような中、2021年6月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、脳血管系製品の販売が好調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による市場規模の縮小や、医療償還価格の下落、不正アクセスによるIT障害に起因した一時的な売上遅延などにより、売上高は283億1百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

メディカル事業は、新型コロナウイルス感染症の影響によるグローバル規模での症例数減少や、不正アクセスによるIT障害により一時的な売上遅延が発生したことなどから売上高は減少しました。

デバイス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、医療部材・産業部材ともに売上高は減少しました。医療部材につきましては、国内市場においては内視鏡用部材の減少、海外市場においては米国向け腹部血管系カテーテル部材および循環器系検査用カテーテル部材の取引が減少したことなどから、売上高は減少しました。産業部材につきましては、国内市場は横ばいに推移したものの、海外市場の自動車関連・OA機器関連・レジャー関連取引が減少したことなどから、売上高は減少しました。

営業利益は継続的な先行投資に伴う研究開発費用などが増加し、減益となりました。

営業利益は、開発強化のための研究開発費、不正アクセスに伴うIT障害対応費用、組織体制強化のための人件費、システム関連費用などの販売費及び一般管理費が増加したことにより、61億86百万円(同29.0%減)となりました。

経常利益は、為替差損の増加などにより、60億97百万円(同31.1%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、44億51百万円(同27.7%減)となりました。

新製品販売開始、販売・マーケティング活動強化など成長戦略を着実に進め、企業価値の拡大を目指します。

当社グループは、2019年6月期からスタートした中期経営計画『ASAHI Road to 1000』において、連結売上高1,000億円達成に向けた事業ポートフォリオの構築として、「グローバル市場の戦略的な開拓と患部・治療領域の拡大」「グローバルニッチ市場における新規事業の創出」「グローバル展開に最適な研究開発・生産体制の構築」「持続的成長に向けた経営基盤の確立」を経営戦略に掲げています。

当第2四半期連結累計期間では、①販売・マーケティング活動強化のために、韓国において2020年7月より循環器系製品の直接販売化を開始、②同様に、米国においては2021年1月より脳血管系製品を直接販売することを決定、③同様に、2021年1月からのドイツにおける直接販売開始に向けてドイツ法人(ASAHI INTECC Deutschland GmbH)を設立、④成長を実現するための基盤技術研究の拡充を目的に、大阪R&Dセンター新棟の建設を決定、⑤社会と当社のサステナビリティ重要課題に対して、成長戦略・経営基盤強化の両面からの取り組みを整理したサステナビリティレポートを公開するなどに取り組みました。

コロナ禍においても環境変化に迅速に対応、独自の開発・営業・マーケティング活動を推進しています。

新型コロナウイルス感染症は、対面営業や、重要な情報交換の場である学会への現地参加の機会が減少するなど、当社の事業活動にも多大な影響を与えています。

このような状況下において当社は、新たな営業の形として、本社内に最新鋭の機材や照明を揃えた「ASAHI GHQスタジオ」を開設しました。社内にスタジオを持つことで、本格的な撮影が可能となる上、高品質な映像を迅速に配信できる環境が整いました。社内に設置した、手術室を完全に再現した

シミュレーションルーム「ASAHI GHQカテラボ」と連携し、実験や新製品モデルを使用したデモンストレーションの様子を撮影して即座に編集・発信することで、世界中のドクターとの開発を推進しています。

さらに、ドクターを招いての対談や「コンベンションホール」を会場としたオンライン学会を開催し、その風景や手術室の様子をライブ中継しています。自社と

クライアントを中継で結んでの製品紹介や最新情報の生配信は、大変有効なプロモーション・マーケティングツールとなっています。

今後も、環境変化に迅速に対応しながら中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

2021年3月

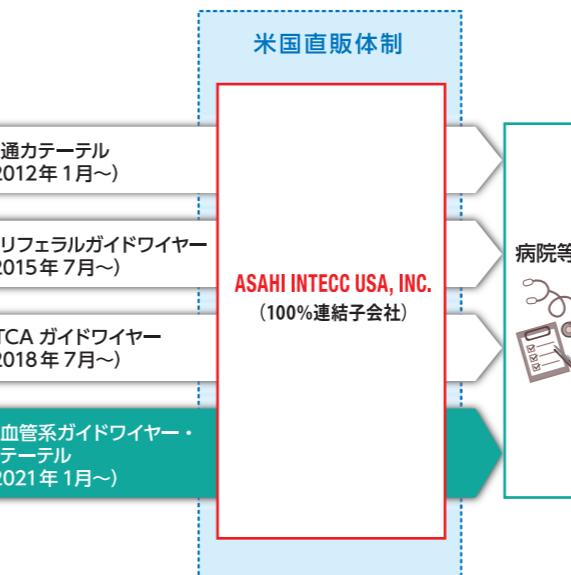
スタジオが完成し、営業・IR・広報活動などに対応



Topics トピックス

脳血管系ガイドワイヤー・カテーテルの米国市場での直接販売を開始

脳血管系ガイドワイヤー・カテーテルの米国市場への販売について、当社は2018年12月より Medtronic plc を通じて行っておりましたが、2020年12月31日をもって同社との契約を解除し、2021年1月1日より、当社グループの ASAHI INTECC USA, INC. (100%連結子会社) が病院に対して直接販売を行うこととなりました。今後は、自社販売体制の強化、優位性を持った製品の投入等により、成長市場である脳血管系分野での当社製品のさらなる拡販、シェア獲得を進め、より一層の収益拡大を目指してまいります。



オンコリスバイオファーマ株式会社との資本業務提携

当社は、オンコリスバイオファーマ株式会社が新たに発行する普通株式を取得し、同社に資本参加するとともに、がん治療分野においてさらなる成長可能性を追求するパートナーとして業務提携を行いました。

この資本業務提携において、当社はこれまでの知見を活かし、オンコリスバイオファーマ株式会社が開発する腫瘍溶解ウイルスを食道がんなどの内臓がんへ適切に投与するデバイスの開発を推進します。

今後は、この資本業務提携を通じた開発をベースに、遺伝子治療・再生医療などのドラッグデリバリー・システムの開発を強化・推進してまいります。

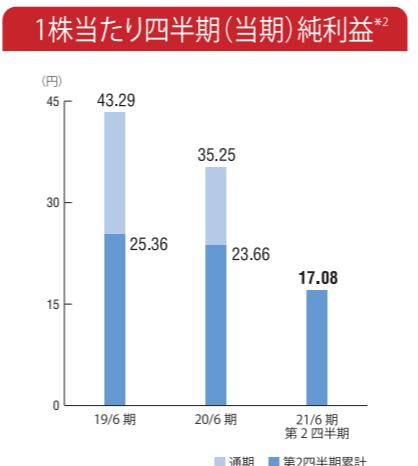
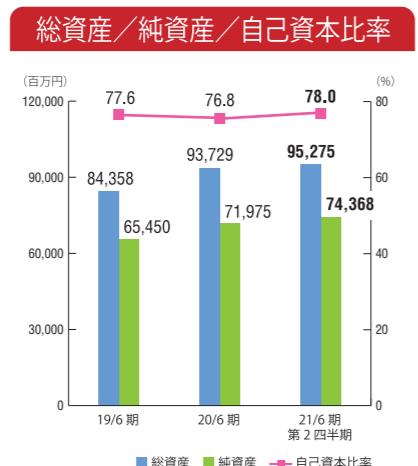
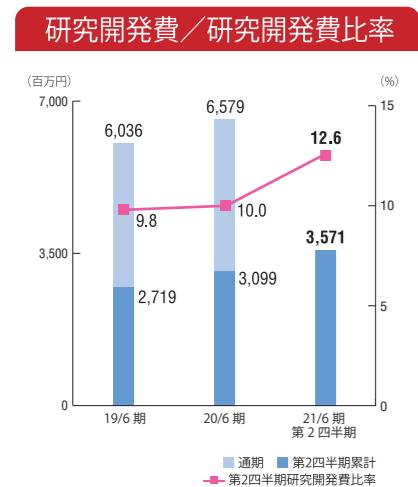
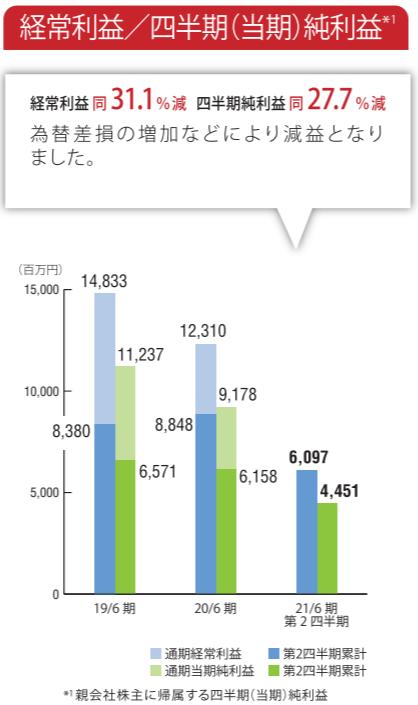
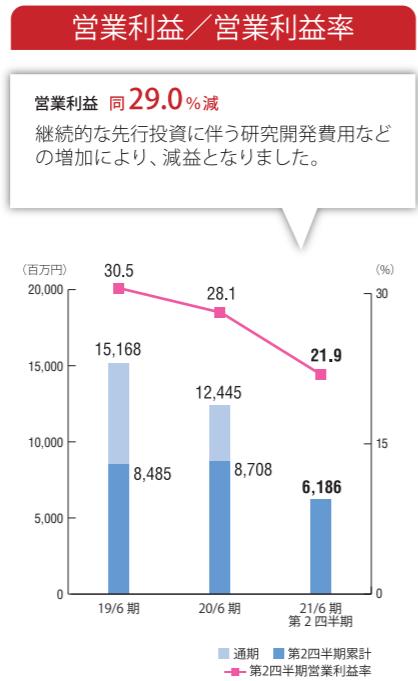
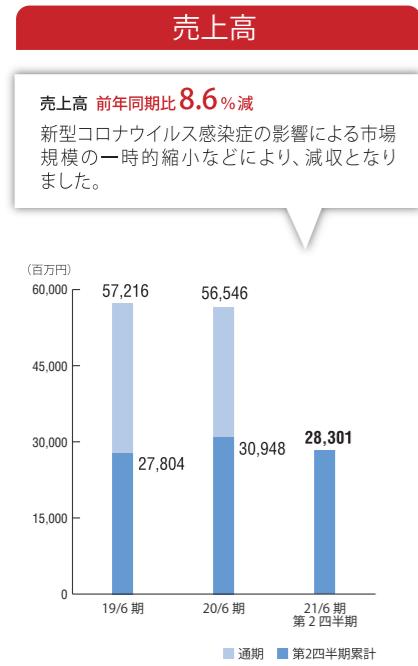


資本業務提携



社名：オンコリスバイオファーマ株式会社
代表者：代表取締役社長 浦田 泰生
創業：2004年3月

連結財務データ



会社情報／株式情報

(2020年12月31日現在)

会社概要

商 号 朝日インテック株式会社
(ASAHI INTECC CO., LTD.)

設 立 1976(昭和51)年7月8日

資 本 金 64億4,279万円

従 業 員 数 連結 8,929名／単体 852名

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

名古屋証券取引所(市場第一部)

主な事業内容 ①主に血管内治療に使用される低侵襲治療製品(ガイドワイヤー・カテーテル)の開発・製造・販売
②医療機器分野および産業機器分野の部材等の開発・製造・販売

役員

代表取締役社長 宮田 昌彦

代表取締役副社長 宮田 憲次

常務取締役 加藤 忠和

取締役 寺井 芳徳

取締役 松本 宗近

取締役 伊藤 瑞穂

取締役 西内 誠

取締役 伊藤 清道^{*1}

取締役 芝崎 晶紀^{*1}

取締役 佐藤 昌巳^{*1}

取締役(監査等委員) 太田 博史

取締役(監査等委員) 富田 隆司^{*2}

取締役(監査等委員) 花野 康成^{*2}

株式情報

発行可能株式総数 800,000,000株

発行済株式の総数 260,715,200株(自己株式 7,878株を含む)

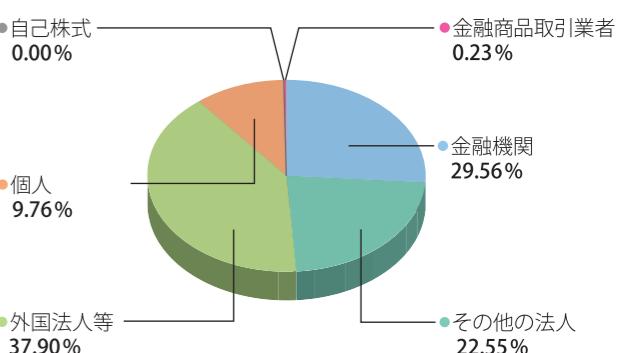
株主数 10,371名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスター・トラスト信託銀行(株)(信託口)	23,595,000	9.05
ボウエンホールディングス(株)	23,084,032	8.85
(株)日本カストディ銀行(信託口)	16,641,000	6.38
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	15,789,384	6.05
(株)ハイレックスコーポレーション	9,600,000	3.68
アイシーエスピー(有)	7,200,000	2.76
宮田昌彦	5,704,600	2.18
宮田憲次	5,259,200	2.01
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,201,822	1.61
野村信託銀行(株)(投信口)	3,876,300	1.48

(注) 持株比率は、自己株式(7,878株)を控除して計算しております。

▶ 所有者別株式分布状況



事業所(2020年12月31日現在)

▶ 国内事業所

本社 / メディカル事業統括本部

グローバル本社・R&Dセンター 愛知県瀬戸市

デバイス事業統括本部 大阪R&Dセンター 大阪府和泉市

静岡R&Dセンター 静岡県袋井市

東北R&Dセンター 青森県八戸市

サテライトオフィス 名古屋オフィス 愛知県名古屋市

営業拠点 東京 東京都新宿区

大阪 大阪府和泉市

▶ 海外事業所

中東支店 アラブ首長国連邦 ドバイ

シンガポール支店 シンガポール ユナイテッドスクエア

香港支店 中国香港

インド支店 インド ハリヤナ州

韓国支店 韓国 ソウル(特別)市

フランス支店 フランス パリ

台湾支店 台湾 新北市

▶ 連結子会社

ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD. タイ パトムタニ県

ASAHI INTECC HANOI CO., LTD. ベトナム ハノイ市

ASAHI INTECC USA, INC. 米国 カリフォルニア州

朝日英达科贸(北京)有限公司 中国 北京市

朝日インテックジャセールス株式会社 東京都港区

フィルメック株式会社 愛知県名古屋市

トヨフレックス株式会社 東京都新宿区

TOYOFLEX CEBU CORPORATION フィリピン セブ州

ASAHI INTECC LATIN PROMOCAO DE VENDAS LTDA. ブラジル サンパウロ州

ASAHI Medical Technologies, Inc. 米国 カリフォルニア州

ASAHI INTECC CIS LLC ロシア連邦 モスクワ州

ASAHI INTECC EUROPE B.V. オランダ アムステルダム

ASAHI INTECC Deutschland GmbH ドイツ フランクフルト

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
公告方法	当社ホームページ http://www.asahi-intecc.co.jp/ に 掲載します。
	但し、やむを得ない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞 に掲載します。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他の各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)では取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町3番地100 Tel:0561-48-5551(代) Fax:0561-48-5552

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>